

報道関係者各位

2026 年 1 月 22 日

野村不動産ソリューションズ株式会社

リリースカテゴリ：仲介・CRE

店舗移転のお知らせ

## 野村の仲介+ (PLUS) 「学芸大学センター」を移転

### 本ニュースリリースのポイント

1. 東急東横線「学芸大学」駅から徒歩 3 分のビル 1 階に 2026 年 2 月 5 日移転オープン
2. 顧客満足度・社員満足度の向上を目指した店舗内装の実施
3. 野村不動産グループのプロジェクト「つなぐ森<sup>※1</sup>」によるオリジナル家具を使用するなど環境に配慮

野村不動産ソリューションズ株式会社（東京都港区／代表取締役社長：日比野勇志／以下「当社」）は、2026 年 2 月 5 日（木）に個人のお客様向け売買仲介店舗である野村の仲介+ (PLUS)「学芸大学センター」を移転しますのでお知らせいたします。



野村の仲介+ (PLUS)「学芸大学センター」は、2002年から現店舗にて、世田谷区と目黒区を中心に営業を行ってまいりましたが、この度、現店舗より東へ約30mに位置する新築ビルの1階に移転いたします。

店舗の内装は、駅前商店街のにぎやかさをモチーフにデザインし、受付や室内のドア、壁面の造作にアール形状を取り入れ、来店されるお客様や社員が、活気と温かみが感じられる空間づくりを目指しています。

引き続き居住用不動産の他、投資用・事業用不動産の取扱いを積極的に進め、上記エリアの中核店舗としての役割を担ってまいります。

※1 「森を、つなぐ」東京プロジェクト 公式サイト URL

<https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/heart-of-mori-wo-tsunagu/index.html>

## 1. 野村の仲介+(PLUS)「学芸大学センター」におけるサステナビリティ推進の取り組み

当社は、野村不動産グループが掲げるサステナビリティポリシー※2に基づき、長期的企業価値向上と持続的成長の実現に取り組んでおります。今回の店舗開設においても、環境に配慮した家具を採用することで持続可能な社会の実現に貢献しております。

### (1) 「つなぐ森」の木材を使用したオリジナル家具（打合せコーナーにて使用）

野村不動産グループが奥多摩町に保有する「つなぐ森」は、生物多様性の保全や、持続可能な森林経営が行われている森林としてSGEC/PEFC FM認証を取得しています。



### (2) 森林保全を目的とした「木製家具」（接客個室にて使用）

森林・林業の成長産業化や地域振興、資源循環型の社会実現に貢献する FSC® 認証のテーブルを採用しました。



### (3) 環境に貢献するサステナブルな壁紙（接客個室にて使用）

資源を再利用して生まれた環境にやさしい壁紙サンゲツ「MEGUReWALL」を採用しました。

DANDAN



TH 34239



CO2削減率



再生材比率



エコマーク認定商品  
株式会社サンゲツ

※2 野村不動産グループのサステナビリティポリシーURL <https://www.minnade-tsunagu.com/policy/>

## 2. 野村の仲介+(PLUS)「学芸センター」店舗の概要

所在地：東京都目黒区鷹番二丁目 20 番 20 号 インizzo学芸大学 1 階  
TEL：03-5720-6201（※変更はありません）  
FAX：03-5720-6901（※変更はありません）  
センター長：富山 大軌  
営業時間：10:00～18:00  
定休日：火曜日・水曜日  
移転日：2026 年 2 月 5 日（木）

あの人に、頼んでよかった。

野村の仲介+  PLUS

【野村の仲介+(PLUS) ロゴマーク】

当社では、今後も積極的な出店や移転を通じてお客さまとの接点を増やすと同時に、不動産流通事業におけるサービスブランド「野村の仲介+(PLUS)」と「レアリア」の浸透を図りながら、「あの人に、頼んでよかった。」とご満足いただけるよう、質の高いサービスを提供し、お客さまに信頼されるナンバーワンブランドの実現を目指してまいります。

### 【ご参考】

野村不動産グループ 2030 年ビジョン「まだ見ぬ、Life & Time Developer へ」の実現を目指し、グループ全体で、人びとの「幸せ」と社会の「豊かさ」の最大化を追求するため、2025 年 4 月に新たな経営計画を公表しました。

#### ＜経営計画における 3 カ年計画の事業方針＞

|      |      |  |
|------|------|--|
| 基本方針 |      | グループ全体で事業量の拡大を図り、持続的な成長を実現しながら、バランスシートを適切にマネジメントし、高い利益成長と高い資産・資本効率を両立する。               |
| 事業方針 | 基幹事業 | 分譲住宅事業・オフィス事業において、デベロップメント分野とサービス・マネジメント分野の連携を一層強化しながら商品企画力とサービス力を向上させ、確固たるポジションを構築する。 |
|      | 注力領域 | 持続的な成長に向けて、以下5つに注力する。  |
|      |      | 1 成長事業（賃貸住宅、ホテル、シニア住宅、物流施設）への重点的な投資  |
|      |      | 2 開発事業、賃貸事業における投資家資金の導入  |
|      |      | 3 グループ内連携、野村グループとの連携の強化  |
|      |      | 4 海外事業の将来収益拡大に向けた取り組み  |
|      |      | 5 戦略投資（M&A）による成長の加速  |

※3 カ年計画は長期経営方針を基に、今後 3 カ年で注力する事業方針を示したものになります。

※経営計画の詳細は【[野村不動産グループ 経営計画](#)】をご確認ください。

#### 【報道関係者様向けお問い合わせ窓口】

野村不動産ソリューションズ株式会社 経営企画部（担当：藤沼・滝口）  
TEL：03-6858-1709 MAIL：un-keieikikaku@nomura-re.co.jp